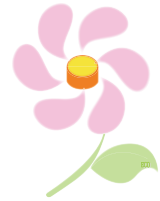


日頃より、エコキャップ運動にご協力頂きありがとうございます。



今回の報道に関して、皆さんの心を結果としては裏切る形になってしまい、本当に申し訳ございませんでした。

第7期（2013/9/1～2014/8/31）は、キャップリサイクルにおける重要な作業を、障がいをお持ちの方々にご担当頂く事で雇用の創出に繋がる「エコステーション構想」に取り組みました。

皆さんが集めて下さったエコキャップは、計量や異物の除去、粉碎作業など、リサイクルするための前処理として必要な作業があります。こういった作業を知的障がい等で仕事に就くことができない方々に行っていただくことで、仕事に就き社会参画の場を作る事が出来ます。これが現在全国各地に設置されつつある「エコステーション」です

この構想は、障がい者支援だけでなく、全国各地のエコステーションに学校等から直接持ち込んで頂く事によって、送料をおさえることができるのです。

ただ、7期だけとはいえ、皆さんが集めて頂いたキャップの売却益を「エコステーション」のみに使用するという事を、当協会のホームページなどできちんと説明すべきでした。これが今回皆さんに誤解を招いてしまった原因だと反省しております。

今年度は、今なお途上国が抱えている医療不足の問題に向き合い、支援活動を展開していくため、エコキャップ運動の柱のひとつとして継続的にワクチン等医療支援の活動を行ってまいります。この他にも、国内外にこだわらず皆様にご納得頂ける使い道を考えて行きたいと思っております。

今後とも、皆さんがエコキャップ運動を支えて頂きたくお願いいたします。

エコキャップ推進協会

〒231-0023 横浜市中区山下町 252

グランベル横浜 3階

TEL045-900-0294

FAX045-900-0295